

2020年度 第7回支部集会【関西支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2021年3月13日(土) 会場：オンライン (Zoom)

参加者：84名 (会員 62名・一般 22名)

2019年度3月の関西支部の支部集会は、開催直前で中止となりましたが、2020年度は最初からオンラインで開催することを決め、無事に実施することができましたので、ご報告いたします。

本集会では、口頭発表1件、交流ひろば10件が日本語教育学会秋季大会の実施方針に沿って行われました。まず、口頭発表は、「ベルリン自由大学におけるオンライン授業の実践、及び学生による評価を基にした今後の改善点」というテーマで城戸寿美子氏（ベルリン自由大学言語センター）・白木美依氏（ノルトライン・ヴェストファーレン州立言語研究所）がドイツから参加され、発表してくださいました。まさに、2020年国内の教育機関でも試行錯誤したオンライン授業の実践例は、共感できる点、参考にできる点が多くありました。交流ひろばでは、地域日本語教室の実践、大学のプログラムと地域を結ぶ活動、地域日本語教室向けの教材開発、オンライン用の教材開発、災害時の安否確認や防災意識向上についてなど、多彩で時機にかなった魅力的な実践・教材の紹介が行われました。交流ひろばは、ブレイクアウトルームの機能を使って行ったのですが、その際、途中で参加者全員がメインルームに戻されてしまうというアクシデントが2回起きてしまいました。また、交流ひろば最後のセッションでは、終了時間が余裕のない設定になっており、終了時間に一齐にメインルームに戻され、いくつかのグループでは、最後のまとめの話が途切れてしまいました。発表者及び参加者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたこと、改めてお詫び申し上げます。



日本語教育学会 2020年度第7回支部集会 【関西支部】

- パネルディスカッション 15:15~16:35
「海外で活躍する日本語教師へのエール！」

パネリスト：

森田誠亮氏 エジプト・カイロ大学
前本真貴子氏 アメリカ・サンディエゴ州立大学
松田涼子氏 フィリピン・国際交流基金マニラ日本文化センター(セブ)
三國喜保子氏 韓国・釜山外国語大学

最後のセッションは、「海外で活躍する日本語教師へのエール！」と題し、森田誠亮氏（エジプト・カイロ大学）、前本真貴子氏（アメリカ・サンディエゴ州立大学）、松田涼子氏（フィリピン・国際交流基金マニラ日本文化センター（セブ））、三國喜保子氏（韓国・釜山外国語大学）の4名の方々から現地の日本語教育事情、所属先の状況、そして、キャリア形成過程において海外で教える意義や目的・目標について話していただきました。

コロナ感染拡大の影響を受け、日本との往来もままならず、それぞれの国や所属先での教育活動も対応に追われる中、ご自身の目的・目標をかなえるべく努力なさっている様子を知ることができ、お話を聞いた我々のほうがむしろ励まされ、元気をいただきました。

実施後のアンケートでは概ね好評を得ましたが、口頭発表および交流ひろばの実施方法に改善要望が多く出されました。口頭発表については、対面型と同じように集会の場で発表が行えないかというご意見がありました。また、交流ひろばについては、事前配信の動画が見られない場合もディスカッションに参加できるよう、冒頭で簡単に発表内容の紹介をしたほうがよい、質問もしやすいのではないかとご意見をいただきました。年度末の慌ただしい時期の開催でしたので、実際に今回の視聴回数もかなり低いものでした。2021年度以降は、オンライン開催の際の「交流ひろば」の実施方法が改訂され、冒頭5分は概要説明を行うことになっています。ぜひ多くのご応募、ご参加をいただきますよう、お願いいたします。本集会では、関西のみならず他地域や海外から多くの方々にご参加いただき、まさにオンライン開催の良さを活かせたと支部活動委員・協力員一同喜んでおります。皆様のご理解とご協力、そして、何より多くの方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。

(報告者 支部活動委員：亀田美保・ルチラ・パリハワダナ・木下謙朗 支部活動運営協力員：内田さつき)